

今熊野学区における学生と住民による移住促進拠点づくりプロジェクト

京都美術工芸大学 建築学部 教授 生川慶一郎

● 事業内容

少子高齢化、空き家の増加、コミュニティの低下が課題となっている今熊野学区（東山区）において、地域で空き家再生活用事業に取り組む NPO 法人泉山から空き家を提供していただき、学生が地域まちづくり活動に参加しやすく、更には移住のきっかけとなる活動拠点を学生と住民とが協働してつくり出していくプロジェクトである。地域で課題となっている空き家を対象に、建築分野の専門性を活かした学生ならではの柔軟な発想の活用提案を地域住民に提示し、場合によっては自らが住まう住宅を設計するなど、地域活動の新しい担い手として学生が活躍できるまちづくりを目指す。



空き家ワークショップ @ 京都美術工芸大学

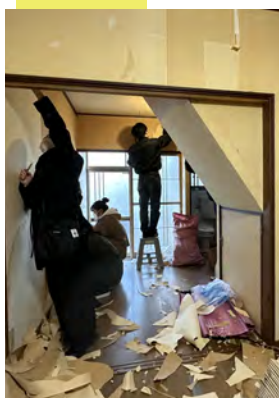
● 活動履歴

2023

- | | |
|-------|--|
| 8/ 6 | まちあるき（キックオフ） 今熊野学区全域 |
| 9/17 | 空き家（活動拠点候補）見学、調査結果の整理、空き家の確定 |
| 10/20 | 空き家ワークショップ |
| 11/26 | 消火実験会 @南日吉公園＋まち歩き
第1回作業日：現場確認＋実測 |
| 12/ 6 | 東山交流会 @清水寺 |
| 12/17 | 私の資産をまちの資源に 連続空き家セミナー参加
「みんなが安心して暮らせる坂のまち、空き家と防災のまちづくり」 |
| 12/23 | 第2回作業日：実測、浴室前脱衣室床解体、1階壁面の壁紙剥がし |

●活動履歴

2024	1/13	第3回作業日：1階壁面の壁紙剥がし、周辺模型制作
	1/18	改修案のコンセプト立案
	1/25	改修案の検討
	2/ 1	改修案の検討
	2/ 5	改修案3案の確定
	2/ 8	改修案模型制作、図面作成
	2/15	改修案について工務店と現場調整
	2/24	第4回作業日：ダイニングキッチン床解体、 階段壁面および1階天井の壁紙剥がし to be continued....



改修作業の様子

●今後の活動・展望

令和5年度地域連携支援により、空き家の提供を受けることができ、調査、計画、改修作業に着手できた。本プロジェクトは中長期的な取組であるため、次年度以降も継続してプロジェクトを推進していく。

これまでの活動を通じて、当大学の学生が今熊野学区への移住を検討することとなり、2階を居住スペース（単独またはシェア）とし、1階を地域の交流スペースにもなるコミュニティキッチンとしての活用可能性を探ることとなった。大工など専門職の技術を要する作業と学生が作業する部分を切り分けながら、できる限りコストダウンを図る仕組みについて実証的に検証を進めていく。

また、学生独自のこだわりのポイントや多様な特技を活かせる空き家マッチングのあり方として、一般的な賃貸借契約だけではなく使用貸借契約（間借り）もふくめた多様性かつ柔軟な利活用の可能性を、地域住民の方と共に探っていきたいと考えている。

●取材

2024/3/1 株式会社 LOHASTYLE「暮らしの情報 LIVIKA」

SDGs 大学プロジェクト × Kyoto Arts and Crafts University. (<https://livika.jp/32383/>)

●協力・参加学生

協力：今熊野自治連合会、NPO 法人泉山、京都市

参加学生：建築学部学生14名・芸術学部学生3名